

登山・登攀の記録

北アルプス 残雪期劔岳東大谷 左俣スキー滑降・G1 登攀

日時:1981年5月1日～5月6日

メンバー:小山貢(OB)、塔下守

概要:1950～60年代の開拓期以降、山岳部活動対象から遠ざかっていた劔岳東大谷における小山OBのスキー滑降、現役塔下の残雪期東大谷 G1 登攀。「五月の東大谷は明るいところでした。10 時頃からの雪崩や落石の定期便に気を付けていたら一年で最も登り易い時期ではないでしょうか。」塔下談

記録

5月1日 快晴

発電所手前－馬場島荘 コ スナクボ池

上市からのタクシーは発電所手前の橋まで入れた。馬場島荘に泊まることとして荷の一部を立山川スナクボ池付近のインゼルまでデポして来る。川は菊石より上部は完全に埋まっていた。

5月2日 晴

馬場島荘(7:45)－東大谷出合B. C(14:16)

風生暖かし。昨日のデポ地点から毛勝谷出合までは、デブリの上を歩くこととなった。ダブルボッカを3回繰返して出合いの200m程上部にB. C設営。出合付近は滝を頂点とする雪の扇状地となっていて絶好のゲレンデ。他に1パーティ東大谷に入山する。午後、時をおいて奥大日側の斜面が何度も雪崩れる。B. Cは良い見物台だ。

5月3日 曇のち雨

B. C(6:10)－二股(6:36)－早月尾根 2600mの
コル(10:20)－B. C(11:50)

打ち合わせ通り、本日は小山OB左俣スキー滑降の日。塔下はサポートに回る。二股の下の滝はどちらも埋まっていた。左俣は二本槍・コマクサの各ルンゼ、左の左俣からのデブリでほぼ埋まっている。雪崩の流心には溝が出来ていた。コマクサルンゼより上部は傾斜も一段と強くなり、雪も柔らかいがとにかくコルまで上がる。コルの直前まで来た時、二本槍ルンゼから雪崩が出る。そして先程我々の通った跡を総ナメにしていった。左俣に出ても300m以上動いた。発生時刻は10:00。コルからのスキー滑降はある程度で切り上げ、途中を歩いた後、コマクサルンゼ下から再び滑り出す。私はというと先程のデブリの上を走ってスキーと競争したのでした……。B. C到着するとともに

雨。冬用テントの雨漏りはひどかった。

5月4日 曇もしくは晴

休養日とする。「東大谷スキー場」でスキー。

5月5日 晴のち曇

B. C(6:30)－前劔沢出合(8:30)－G1取付－
(10:10)－G1 頭(16:00)－武蔵のコル(16:40)
－B. C(18:00)

出合いから見るG1は圧倒的に高く、G1自体の登攀技術よりもそのアプローチの体力的な困難さを予想させた。前劔沢出合までは難なくたどり着いたのだが、中の左俣は傾斜もきつくカッティングしながら登る。10時頃になると上部からの落石が始まり心身ともに応えた。G1の取付を求めるが見当らない。たぶん積雪の下になっていたのであろう。両側が狭まる手前、G1の支稜の末端で休みアンザイレンする。1～3P目は支稜下手の雪のルンゼを登る。上部の雪は割れていて剥がれそうであった。4P目脆い岩を登ってG1主稜に出て木の上でビレイをとる。5～6P目ハイマツとダケカンバを漕いで直上しリッジに出る。7～9P目ハイマツと雪壁の交錯するリッジと壁を直上。左側に巻きだす。10～13P目、岩とハイマツのミックスからリッジに出て、岩塔を登ったり、巻いたりして傾斜の落ちる所まで。14P目、ザイルを解いて、脆い岩を縫ってG1の頭までチンタラ行く。取付から雪あらばカッティングで通したり、ずっとアンザイレンだったりで約6時間かかった。時間と気力の問題から本峰を断念し階段となった別山尾根をたどる。途中芝山氏の碑に寄る。武蔵のコルから中の右俣を下った。最上部は両方から壁の狭まるガラガラのルンゼとなっていて陰気な所。全体に傾斜はきついが午後の陽を受けて適度に柔らかく手間をとらなかつた。

登山・登攀の記録

満足と疲労で一杯になって 13 時間半の行動を終え B. C に着いた。

5 月 6 日 曇のち雨強く

B. C 撤収 (8:20) - 馬場島 (9:00/11:00) - 発電所 (11:30) = 上市

天気は悪化しそうなので室堂乗越へ上がることは止めて馬場島へ降りることにする。出発直前から雨がぱらつきだし追い立てられるように立山川を滑る。デブリも何とか誤魔化して約 1 時間で橋に着く。馬場島荘でタクシーを手配し発電所の下手まで滑る。その日のうちに京都へ着いた。

(記／塔下)



「立山航空」(1952.7.1)

グラビア、白紙、すかしなし。50 枚シート
渡辺三郎原画、平野清修正。85 円、灰黒色。
図案は剣岳東大谷側と航空機

※ ルート図など追加の可能性あり

1. 写真やスケッチ、ルート図、地形図などを挿入することが望ましい。
2. サイズの変更は自由